

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校 実践研究報告書

【都道府県】 福岡県

【学校名】 筑紫野市立筑紫野中学校

【テーマ】 I II **III** IV V

- I オリンピズムの教育的価値
- II おもてなし精神とボランティア
- III パラリンピックと障害者スポーツ
- IV 日本文化と異文化・国際理解
- V スポーツを楽しむ心

【実践研究タイトル】

エンジョイ ボッチャ！！
～楽しくパラリンピック種目を学ぶ～

【実施学年】

3年生6クラス(女子120名)

【目的・ねらい】

パラリンピックの種目であるボッチャの体験を通して、選手が互いに協力しながら行う障害者スポーツを理解し、2020東京オリンピック・パラリンピックに興味・関心を持つ心を育む。

【種類】

- ・各教科(保健体育)・道徳・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動
- ・教科以外での取り組み()

【実施内容等】

(実施内容)

第1次(4時間) …… 27年度に実施

パラリンピックについて

- ・道下美里選手講演



ブラインドウォーク体験



伴走者を体験



道下選手講演の様子

ブラインドランニング体験



道下選手と記念撮影

第2次(4時間)

文化としてのスポーツの意義の学習

- ・現代生活におけるスポーツの文化的意義について

- ・国際的なスポーツ大会の果たす文化的な意義や役割について
- ・人々を結び付けるスポーツの文化的な働きについて
- ・パラリンピック種目について

第3次(4時間)

ユニバーサルスポーツ(ボッチャ)を体験

- ・ボッチャの体験(4時間)



校内掲示



ビデオ視聴の様子



試合の様子



距離を測っています

(指導上の工夫点、留意点)

- ・文化としてのスポーツの意義の学習では、オリンピック・パラリンピックのビデオを視聴することで、一人一人のオリンピック・パラリンピックにかける思いや情熱を感じさせた。
- ・スポーツの意義を学ぶことで、スポーツの持っている力に気付かせた。
- ・ボッチャを体験し、様々なチームと対戦することで、ボッチャの楽しさを感じさせたり、仲間との交流を通して、パラリンピックの素晴らしさを感じさせたりした。

(成果)

生徒のアンケートから

- オリンピック・パラリンピックへの興味・関心が高まり、オリンピック・パラリンピックを見たい、ボランティアで支えたいと思う生徒が増えた。
- ボッチャ以外のパラリンピック種目への関心が高まった。
- 運動が苦手でも楽しむスポーツがあることに気づき、運動に対して前向きになった。
- 授業を通して、スポーツの素晴らしさに気づき、スポーツを生涯にわたって行いたいと思う生徒が増えた。

【オリンピック・パラリンピック教育の実施に伴う課題点】

- 道具が高価で多く揃えることができないため、1つのグループの人数が多くなった。
- 2020東京オリンピック・パラリンピックに協力したいと思っているが、その具体的なプランまでは計画できなかった。